

令和5年5月23日

防災地域建設委員会資料

報告事項

- | | ページ |
|-----------------------------------|-----|
| 1 萩・石見空港「羽田発着枠政策コンテスト」の評価
について | 1 |

地域振興部

萩・石見空港「羽田発着枠政策コンテスト」の評価について

1. 概要

令和5年3月24日に開催された「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」において、有識者による評価が行われ、萩・石見空港の取組に一定の効果があると認められたことから、令和7年3月29日までの萩・石見空港東京線の2便運航継続が決まった。

2. 経緯及び経過

(1) 経緯

現コンテスト期間（令和2年3月～令和7年3月）のうち、令和5年10月から令和7年3月までの取扱いは、今回の中間評価で決定されることになっていた。
*萩・石見空港については、前回（平成25年11月実施）のコンテスト期間（平成26年3月～令和2年3月）より、羽田発着枠の配分を受けている。

(2) 経過

令和5年3月24日 懇談会においてプレゼンテーション
〃 4月21日 結果公表（令和5年10月～令和7年3月の配分が決定）

3. 懇談会で説明した主な内容

- 東京線2便化による効果（航空機利用者数の増加だけでなく、名古屋以東・以北から石見地域への立地企業の件数や新規雇用など他分野への波及）
- 関係人口拡大に繋がる利用やコロナ禍に対応した利用（ワーケーション・キャンプ用品レンタル）に対する新たな助成制度の創設
- 首都圏の電車内モニター画面広告（JR山手線・東京メトロの全線・全車両）による圏域の情報発信
- 圏域の学校・企業等に対する継続的な航空機利用の働きかけによるアウト需要の底上げ

4. 今後の主な取組

- 地域の観光素材と空港利用を効果的に組み合わせた旅行商品造成
- 修学旅行や社員旅行などアウト需要の底上げ
- 山陰インバウンド機構との連携によるインバウンドへの対応
- 首都圏企業を対象とする石見地域の工業団地視察ツアーの実施
- 首都圏等での効果的な情報発信 など